

秋田県知事 : 佐竹敬久 様
秋田県議会議長: 鶴田有司 様
秋田県議会議員の皆様
秋田市長 : 穂積 志 様
秋田市議会議長: 小林一夫 様
秋田市議会議員の皆様

2018年8月21日(火)
「連帯ユニオン議員ネット」

代表: 戸田ひさよし: 大阪府門真(かどま)市市議会議員
連絡先1: 大阪市西区川口2-4-28
全日本建設運輸連帯労働組合(連帯ユニオン)近畿地方本部内
連絡先2: 大阪府門真市新橋町12-18-207 戸田ひさよし事務所内
HP <http://www.hige-toda.com/1/09giinnettaikai/index.htm>

私達「連帯ユニオン議員ネット」は、「立場の弱い労働者と中小企業への支援を行い、豊富な情報・政策立案能力を持ち、右翼やヤクザ、権力弾圧と敢然と闘う労働組合」である「連帯ユニオン」(全日本建設運輸連帯労働組合)に共鳴を覚え、共同して自治体行政や地域社会の改善を進めていくために、自治体議員を主軸に議員経験者や候補者も含めて2005年に結成された団体です。

関西を中心に東北から九州に至る全国規模で数十名が結集し、公共工事や行政の適正化のみならず反戦平和運動、反ヘイト人権運動、地域の活性化運動などにも取り組んできました。

反ヘイトの行政対応を推進してきた日本で唯一の議員団体であると共に、最近では「森友問題」追及の口火を切った大阪府豊中市の木村まこと議員が副代表を務める議員団体としても知られているところです。

安倍政権が突如として打ち出した「秋田県と山口県へのイージスアショア(レーダー&ミサイル発射基地)設置」計画は、ようやく現実味を帯びて始まった東アジア・朝鮮半島の平和構築の流れに逆行するものであり、日本がアメリカ軍産複合体制に追随し、アメリカの言いなり価格で6000億円以上もの国費を浪費して、実際には日本の防衛のためにはならず、中国ロシアとの対決政策を進めるアメリカの防衛のために日本の国費と安全を差し出すものとして、強く批判せねばなりません。

とりわけ、秋田の県都=秋田市の中核直近、住宅産業地帯直近の秋田市新屋の自衛隊演習場へのイージスアショア設置は、世界で類を見ない危険で愚かな設置であり、会員に秋田市議の倉田よしひろ議員を擁し、潟上市出身で秋田高校OBである大阪府門真市議の戸田ひさよしを代表に抱く我々「連帯ユニオン議員ネット」としては、特に声を大にして設置反対を訴える次第です。

イージスアショアは、「有事」には真っ先に相手国からのミサイル攻撃に見舞われて、周辺広範囲に渡って壊滅的破壊をもたらす危険性が甚大であり、「平時」においても強力なレーダー波によって種々の健康被害・電子機器攪乱被害が予測される(現にイージス艦では乗船員が艦内閉じこもりを強制され、丹後半島の米軍Xバンドレーダー周辺はドクターヘリの飛行が禁止されて地域の救急医療に困難をきたしている)超危険施設です。

この超危険施設が、商業高校から300m、県営プール/県立野球場や勝平小学校から数百m、市立/県立体育館・県立図書館・秋田市保健所等から1.5km~2km、県庁/秋田市役所・県警本部・秋田地裁/地検・市立総合病院等から2.5km前後の所に設置されるなどは、「正気の沙汰」ではありません。

「原発も米軍基地も無い平穏な秋田県」の県都を「危険かつ軍事機密保持による住民監視抑圧の軍都」に変えてしまうイージスアショアの新屋設置はまた、県人口が戦後最低の98.3万人となり、秋田市人口も減少傾向が止まず31.5万人に減る中で、地域の発展を願って営々と重ねられている様々な努力に冷水を浴びせ、秋田県・秋田市をますます「人や企業が去っていく・寄って来ない地域」にしてしまいます。

こういう理不尽を県知事や秋田市長の頭越し、住民・議員の頭越しに勝手に決めて押しつけて来るのは、秋田県民を「どうにもできるもの」と見下し、地方自治の重みを舐めきっている、安倍政権の傲岸不遜さの現れであり、心ある者ならば誰にとっても許す事ができない所業です。

秋田県知事・秋田市長、秋田県議会、秋田市議会のみなさまにおかれましては、このような「秋田市新屋の自衛隊演習場へのイージスアショア設置」策動に対して、どうか「毅然として反対する姿勢」を取って下さい。

私達「連帯ユニオン議員ネット」は、会員たる倉田よしひろ秋田市議を先頭に、全国各地にいる会員が様々な形で、イージスアショア設置に反対する秋田市民・秋田県民に心を寄せて連帯支援していく事を表明します。